

## 広報紙紹介

# 郷土の森や木々を大切にしましょう —森のボランティア機関紙—

青森県弘前市 岩木山桜会議



今回は青森県弘前市で活動する岩木山桜会議の機関紙をご紹介します。岩木山桜会議で事務局長の三浦勝衛さんにお話を伺いしました。

——いつも機関紙を送っていただき、ありがとうございます。はじめに、岩木山桜会議について教えてください。

三浦さん 郷土の山、岩木山は津軽のシンボリックな存在であり、古くから信仰の山と

ています。紙面を拜見すると、毎号、岩木山と関わりのある方々の思いが綴られ、津軽地方の文化や暮らしの思いが伝わってきます。作成するうえで工夫している点などお聞かせください。

三浦さん 現在、津軽地方を中心に八十余名の会員がいますが、いろいろな理由で作業に参加できない方も多くいます。その方々への活動報告、そして会員の交流の場になればと思っています。必ず、新しい書き手

して親しまれてきました。この岩木山のふもと周辺の美しく豊かな環境を、ボランティア活動によって守ることを目的としています。具体的には、森林の整備(国有林を管理している森林管理署と協定して森の造成)、街路樹や防風林の手入れ、周辺の清掃活動などです。

——ありがとうございます。そのような活動をしながら、機関紙「岩木山桜会議」を年3回発行されています。

一人を入れるようにしています。また、原稿には注文をつけず自由に書いていただいています。敢えて言えば、できたら「岩木山」を何処かに入れることと、辞書で調べて判るものは載せないことをお願いしています。——そういなかで今まで36号も発行されてきました。機関紙を発行するうえで「やってよかった」と感じたことをお聞かせください。

三浦さん 会の活動記録にもなり、何よりも会の信用度がアップしていることでしょうね。また、弘前市の公共施設にも置かせていただいているので、機関紙を見て入会

される方もいます。

——岩木山桜会議では、これからどのような展開を目指していきますか？

三浦さん 設立して13年目となり、会員の高齢化が一番問題となつていきますので、若い会員を増やしたいところですね。また、行政にもお願いして、いろいろな団体が環境の美化に取り組みの仕組を作る一方、山桜育成保存等の協議会を立ち上げられないかと思っています。

——ありがとうございます。

草取りをする私は、「雑草なんて無いんだよ」と話してくれたが、草を刈らず、緑に囲まれた敷地で畑を耕し、エワト리를放し飼いでいた。犬も動き回れるように長いひもで繋いでいた。家次ぎには近所の人や無農薬を研究する農家の方が手伝い、5年に1度の畑で作品を発表する。団体には所属せず、陶芸家との付き合いはあまりなかった。

【北海道記念館館長勤務：弘前市在住】  
岩山人の作品を寄売したことで有名な重

## 2020ボランティア等上半期報告

当事務局は公益社団法人日本山桜協議会「桜の基金」の支援を受けて実施しました。



一活動参加者人数 96人  
4月 弥生いこいの広場進入路の桜並木の手入れ

5月 桜のまほろば（金の森）ペンチ除草 ツル刈、除伐 4回

6月 ネットレスロードへ植樹 ツル刈

7月 弘前市湯口桜並木の手入れ（白神山地への入口）



ネットレスロード 3回目となる



桜のまほろば サクラ木も大きくなりました



湯口 太いツルを切りました。

会報34号

### 桜木の手入れ作業と 宮沢賢治の旅を追う日和

参加者募集！  
先着 四〇名

実施場所  
岩木山環境教育ネットワーク、  
鶴ヶ沢町山田静楽地区

平成二六年五月（八日）  
参加費 500円

募集要項 裏面

主催 岩木山桜会議  
後援 弘前・宮沢賢治研究会

宮沢賢治の歩いた山田静楽の風景  
ネットレスロードの桜

### 桜街道を 市民の手で育む

海へ続く花満開の道しるへ

参加者募集！  
先着 五〇名

作業内容 桜並木の枝切り・つる切り  
桜並木沿線のゴミ拾い

実施場所 岩木山環境教育ネットワーク  
とき 平成二九年五月（四日）  
参加費 一、〇〇〇円（食代は含む）  
知る 午後「鬼伝説の村」を訪ねます  
募集要項裏面

主催 岩木山桜会議  
協カ 山田静楽地区協議会

この事業は、「市民が育む桜街道事業」として、公益社団法人日本フラワーデザイン協会からの助成を受けて実施します。

●広報紙・機関紙を募集しています！  
「まちむら」では、毎号、地域活動に取り組み皆さまの広報紙・機関紙を紹介しています。発行されましたら、ぜひ編集部までお寄せください。